

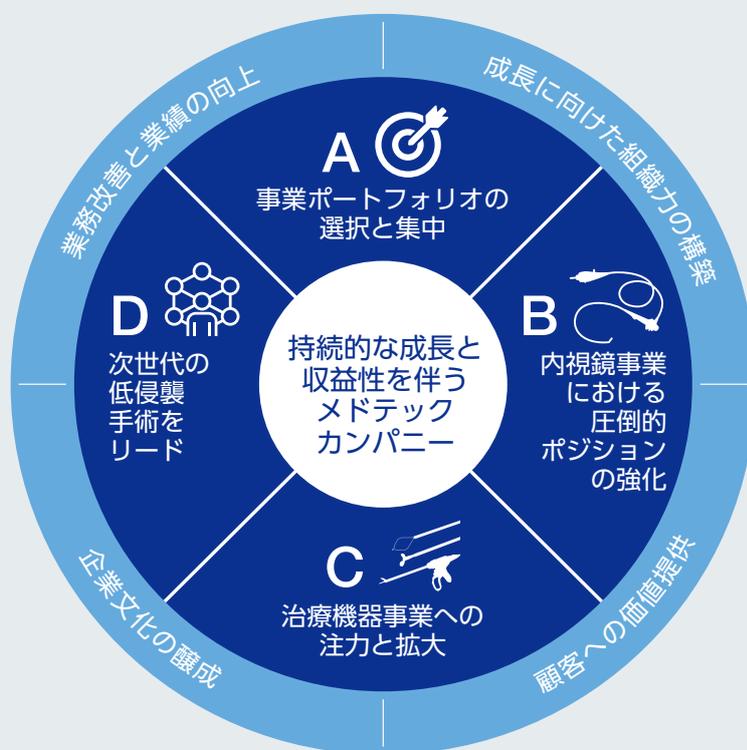
経営戦略における重点項目

重点項目の進捗

オリンパスは、経営戦略において、戦略目標として「世界をリードするメドテックカンパニーへと成長し、革新的な価値によって患者さん、医療従事者、医療機関、医療経済にベネフィットをもたらし、世界の人々の健康に貢献する」ことを掲げています。

一つのマイルストーンとして2023年3月期に調整後営業利益率20%超*1を目指しています。この目標を達成するために、さまざまな取り組みを推進しています。

*1 営業利益から、「その他の収益・その他の費用」を差し引く。為替変動の影響については調整を行わず、実績の為替レートをを用いる



- 科学事業の分社化を正式決定し、分社化に向けた取り組みを加速(当社の子会社で科学事業を行う株式会社エビデントを、第三者に譲渡することを2022年8月に決定。2023年1月に譲渡予定)
- 注力分野である消化器科、泌尿器科、呼吸器科の取り組みを強化
 - 消化器内視鏡システム「EVIS X1」の発売済み市場での拡販および米国や中国など今後発売を予定している市場での着実な投入準備
 - 消化器科(処置具)において、積極的な新製品の導入と主力製品の拡販を進め、すべての製品群で前期比プラス成長を実現
 - BPHおよび膀胱がんに対する治療機器「PLASMA Resection」および結石治療に対する治療機器「SOLTIVE SuperPulsed Laser System」などが増収増益を達成し、業績の二桁成長を牽引
 - 2021年の米国・中国での新型超音波気管支鏡の導入によってEBUS-TBNAポートフォリオの市場拡大を継続、Veran 電磁ナビゲーションプラットフォームによる肺がん診断領域へのソリューションを拡大
- 外科手術用内視鏡システム「VISERA ELITE II」の販売拡大。中国ではIR(赤外光)機能対応モデルを2022年3月期に新たに発売
- 各地域でサービス契約のオプションの商品力強化や、顧客へのプロモーションによる契約付帯率向上の施策を展開
- デジタルエンドスイート*2の実現に向けた研究開発の推進
- コーポレート・ベンチャー・キャピタル・ファンド「Olympus Innovation Ventures」の設立

*2 人工知能(AI)や他のデジタルツールや技術を活用して、患者さんが体験する医療の質を向上させ、内視鏡治療の可能性を広げることができるソリューション